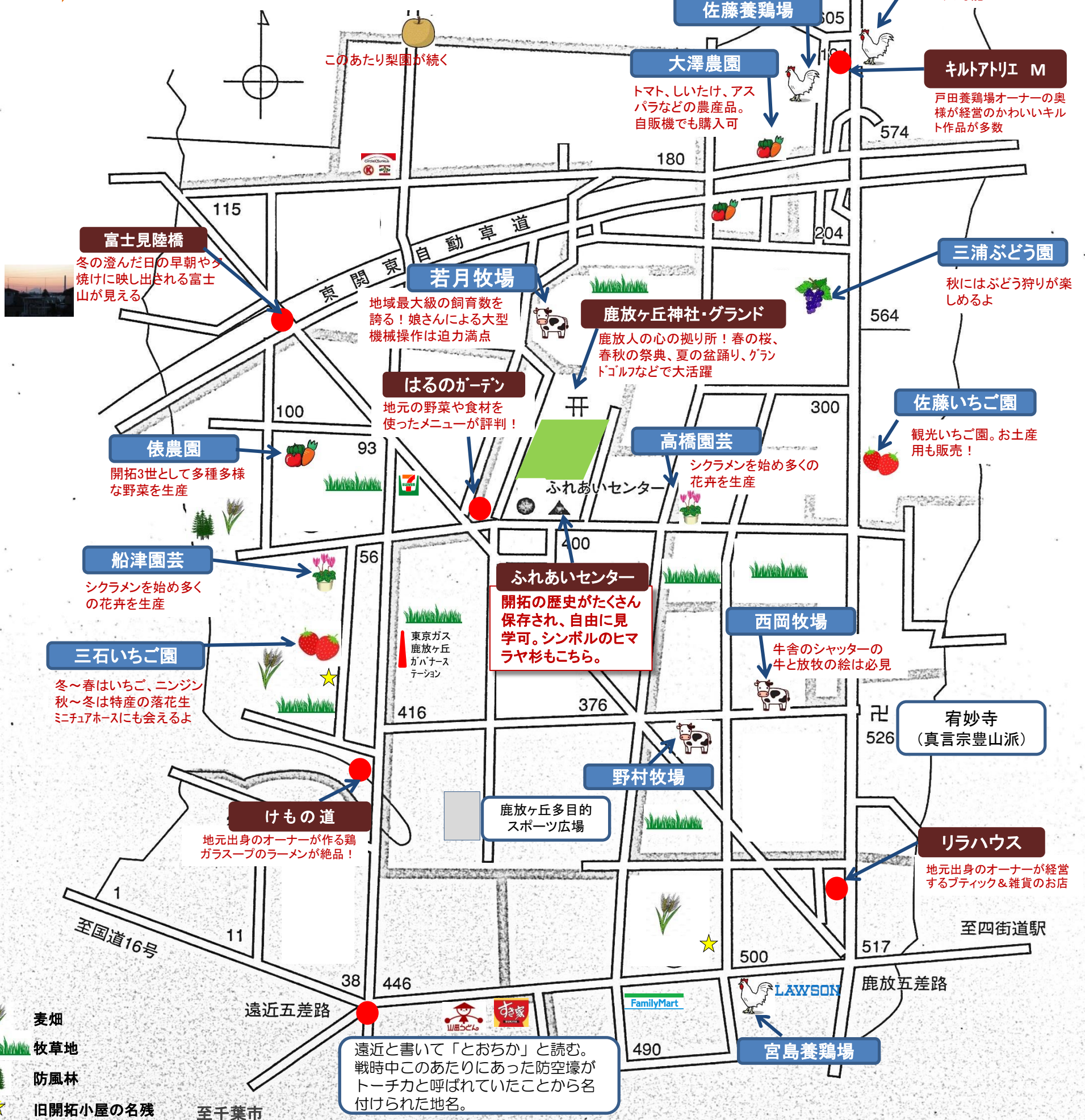




今から70年前14~17歳の少年たちが開拓で作ったまち

ろっぽうがおか
鹿放ヶ丘
千葉県四街道市

自然に恵まれた大地で野菜・酪農・
養鶏・園芸と多様な一次産業に取り
組む2世・3世がいるまち



ろっぽうがおか 鹿放ヶ丘見所マップ

バス（市内循環「ヨッピー」）停留所と距離概算

（時間は徒歩の場合の概算）

1945年終戦と同時に、内原（茨城県）の満蒙開拓青少年義勇軍基幹学校の14～17歳の少年たち100有余名が下志津原開拓のためにこの地鹿放ヶ丘に降り立ちました。見渡す限り荒涼とした原野の開墾を鍬や犁などの人力で掘り起し、緑豊かな畑作地に蘇らせていきました。年には営農日本一となり「朝日農業賞」を受賞し、現在では3世、4世もこの地を「ふるさと」として各方面で活躍しています。

